

真如苑 いわて・地域のきずな助成

第2次募集要項

2015年10月

真 如 苑

公益財団法人 地域創造基金さなぶり

はじめに

真如苑は、東日本大震災発生直後に対策本部を設置し、ボランティアの派遣をはじめ、被災者に寄り添い、ニーズに応える支援を行ってきました。現在は 1.教団施設などを活用した支援 2.文化芸術を通じた支援 3.現地NPO等を通じて行う支援の3つのアプローチによる支援活動と災害救援ボランティア SeRV による支援活動を継続しています。震災発生から5年目を迎え、岩手県では市民の皆さまによる復興に向けた様々な取り組みが盛んに行われていることと存じます。

そのような状況を鑑み、真如苑では岩手県内における市民による市民のための活動をお手伝いできればと「真如苑 いわて・地域のきずな助成」を新たに創設することといたしました。この助成事業では、仮設住宅や災害公営住宅にお住まいの方々同士、あるいは地域住民の方とのつながりづくりのため、自治会や町内会などの住民組織・地縁組織が行う「地域のきずな」を深める取り組みを対象に助成をさせていただきます。

「真如苑 いわて・地域のきずな助成」は、地域で人が集まるきっかけづくりや交流のための備品購入にご活用いただきやすいよう、小口の助成金としました。公益財団法人地域創造基金さなぶりが、「真如苑 いわて・地域のきずな助成」の事業実施・運営を担いますので、詳細は運営事務局までお問合せください。

本助成を通じて、地域のきずながより深まるきっかけになるよう祈念いたします。

真如苑

真如苑とは...

真如苑は、開祖の伊藤真乗が昭和13年(1936年)、東京都立川市に開いた仏教教団です。釈尊最後の教えとされる大般涅槃経を根本の教典とし、日常生活を修行の場として、他のために行う利他の実践行を大切にしています。

開祖が一貫して悩み苦しむ方の立場に立ち、その時にできる精一杯の支援活動を続けてきたように、志を同じくする多くの方々とのつながりを大切にしながら教育、障がい者福祉、環境保全、文化芸術や国際協力などの分野での社会貢献活動に取り組んでいます。東日本大震災に際してはボランティアの派遣や専門団体との連携による助成事業など、多方面にわたる支援を現在も継続しています。

公益財団法人地域創造基金さなぶりとは...

地域創造基金さなぶりは、2011年に仙台市に設立されたコミュニティ財団です。これまで、被災地域の市民活動支援や中小企業等の創業支援を目的とし、約15億円の資金を仲介してきました。岩手県においても、「こども☆はぐくみファンド」や「ローズファンド」などを通して、子ども支援NPOや地域づくりNPOの活動に助成を行っています。

助成の対象となる活動

対象地域：岩手県全域

対象期間：2016年1月1日～2016年4月30日までに実施、終了するもの

活動対象：東日本大震災で被災した住民同士の交流促進や、住民主体で地域づくりを行う活動

◆対象活動例◆

- 1) 仮設住宅や災害公営住宅内におけるつながりづくりなどの各種イベントの開催
- 2) 災害公営住宅等、被災された方々の新たな移転を受け入れる地域での取り組み
- 3) みなし仮設にお住まいなど内陸避難をされている方々を対象とした取り組み
- 4) 災害公営住宅集会所や地域内に新たにつくられる拠点等の備品整備
- 5) 地域の合意形成に向けた勉強会・講演会の実施
- 6) 地域の多様な人々が参加可能なお祭りなどのイベントの開催
- 7) 地域の住民があつまる場（お茶っ子やサロン）等の実施

※被災した方々への支援活動であることを前提とする。

◆対象外の活動◆

- 1) 個人を対象とした活動 ※地域づくりが主眼の助成です。
- 2) 1～2年程度の継続した活用が見込めない物品や什器や設備等の購入や設置
- 3) 仮設住宅等の個別住居部、共用部等、施設、設備等の改修・修繕など
- 4) 機材や物資の購入のみの活動
※購入した資器材を用いるイベントや活動は対象とする。
(例：ガスコンロや鍋等の調理器具の購入＋食事会の実施)
- 5) 学術的研究・調査活動、政策提言活動
- 6) 政治・宗教活動
- 7) 反社会的勢力が関与している活動
- 8) 寄付、基金の創設や充当

助成の対象となる団体

岩手県内に本拠地をおき、岩手県内を活動対象地域としているグループ・団体等

- 1) 地元住民5名以上のボランティア・グループ
- 2) 仮設住宅団地や災害公営住宅の自治会等
- 3) 自治会や町内会等（仮設住宅団地、災害公営住宅の立地する地域の自治会を含む）
- 4) PTAや地域のまちづくり等のために活動するグループ等
- 5) 市民活動団体（任意団体含む）、特定非営利活動法人、一般社団法人等

6) 1～5に該当し、報告書の提出と資金の管理ができる組織

※ 資金の管理：入金と出金の記帳、及び領収書の保存・管理ができること

※ 本事業の趣旨により、年間予算が小規模である組織が優先されることがあります。

助成期間

2016年1月1日 から 2016年4月30日まで

助成金額

1 団体あたりの上限金額 10万円 ※ 第1次、2次合わせて15件程度を想定

対象となる費用の例：活動に必要な資材の購入費、外部講師謝金、印刷製本費、交通費、
ガソリン代、会議費、研修費、食材・材料費等

※申請団体の構成員・職員への報酬は、2万5千円まで（人数と単価を明示のこと）。

申請方法

応募受付締切までに、応募書類一式を下記の事務局あてにお送りください。事務局への直接の持参による応募は受け付けておりません。

募集要項・申請書様式は、地域創造基金さなぶりのウェブサイトからダウンロードできます。

公益財団法人地域創造基金さなぶり URL <http://www.sanaburifund.org>

➤ 応募受付締切

2015年11月16日（月） 必着

➤ 必要書類

1. 申請書（指定様式）
2. 規約や定款など
3. 活動報告書（活動実施報告書、会計報告書）
4. チラシやパンフレット等活動がわかるもの

助成に係るスケジュール

【助成決定】

審査員による審査会をへて採否を決定し、12月中旬に各団体に電話・文書にて通知します。

【助成金の支払】

活動の実施に関する覚書を締結の上、指定の口座にお振込致します。

【活動開始】

2016年1月1日以降の、助成の決定後の活動開始（助成金を充当した活動）が可能です。

【報告書の提出】

活動終了後2週間以内に、所定の様式に基づいた報告書（簡易な会計報告を含む）と活動の様子が分かる写真（画像データ）をご提出いただきます。

※領収書は適切に保管・管理をお願いします。詳細は、決定時にお知らせします。

申請書の提出先／お問い合わせ先

「真如苑 いわて・地域のきずな助成」事務局

公益財団法人地域創造基金さなぶり

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 1-2-23 桜大町ビル 303

TEL：022-748-7283 FAX：022-748-7284 E-mail：kizuna@sanaburifund.org

お問い合わせ：月曜日～金曜日（祝祭日を除く） 9：30～18：30 担当：川村・鈴木

申請にあたって

東日本大震災発災以降、2011年夏頃から入居が始まった仮設住宅での生活も4年を超え、他方では復興事業の進捗と共に災害公営住宅などへの移転など、新たな暮らしへの移行が始まっています。

本助成事業では多様なコミュニティの考え方のもと、多彩な事業の申請を受け付けています。今回仮設住宅における支援を例に、以下の視点を参考までにお伝えしておきます。

仮設住宅団地が、地域によっては早期解消に向かうものの、他方で今後2～3年程度の継続が見込まれる地域もあることと思います。また仮設住宅団地での暮らしは継続する一方で、仮設住宅団地の合併、或いは自治会の解散なども見受けられます。そのような状況から、既存の仮設住宅団地における支援事業を行う際に、以下のような点についてご留意を頂ければ幸いです。

- 既存の仮設住宅団地における支援事業において、これまでの支援事業がどのように行われてきたかを踏まえ、これまでの取り組みを継続する際には、今一度ニーズや状況を見直した上で申請ください。具体的には、お茶っこの継続も必要ではありますが、メンバーが固定化していないでしょうか？世代が固定的ではないでしょうか？女性に限定されていないでしょうか？これからのタイミングで事業を実施するにあたっては、新しいメンバーの参加、世代の拡充や男性の参加が期待できうる企画を盛り込む余地がないかどうか、ご検討ください。
- 仮設住宅団地や新しい公営住宅の住人を対象として、温泉や行楽地への「遠足」的な企画の申請が見受けられます。新たなメンバーの獲得や、一緒に時間を過ごす事から、関係づくりに有用であると言われており、このような企画を申請頂くことは結構です。一方で、実施の意図や、移動時間中のプログラムについて今一度ご検討ください。同じバスに乗って1時間移動しても、参加者それぞれが席に座っているだけでは、新たな関係が自然と生まれるケースばかりではないのではないのでしょうか。また、昼食会などを行う場合でも、お互いの自己紹介など簡単なプログラムを設定し、つながりを作る為の工夫をする余地はないのでしょうか。事業の趣旨が関係づくりである場合、企画への参加のみに留まらず、なんらかの意図をもったプログラムや時間が組み込まれると、より目的の達成に有用ではないかと考えられます。

今後は新たな地域のきずなを住民自身が構築できる様な支援が必要と考えております。イベントの実施に向けた企画打合せや、実施後の振り返り、当日の参加者同士の交流など、本助成事業を住民同士のコミュニケーションの機会と位置付け、地域のきずなの構築に向けた働きかけを期待しております。

2015年 月 日

「真如苑 いわて・地域のきずな助成」
申請書・予算書

団体名 _____

代表者名 _____ 印

申請団体

団体名	ふりがな			
法人格	無・NPO 法人・NPO 法人申請中・社団法人・その他 ()			
設立年月	年 月 設立	法人格取得	年	
所在地	〒			
電話/FAX	TEL	FAX		
Eメール				
ホームページ				
団体代表者	役職名：	氏名：		
事務連絡担当者	役職名：	氏名：		
事務連絡先	〒			
	TEL	Eメール		
振込口座	金融機関名	〇〇信用金庫	支店名	△△支店
	口座番号	普通・当座		
	口座名義	ふりがな		

団体の活動目的 ※どういう状況になるための活動ですか？

--

団体のこれまでの活動（震災後の対応も含む）

--

申請活動

活動名	簡単な名称を付けてください。		
活動期間	2015年 月 日～ 月 日	申請金額	万円（単位万円）
活動地域	実施場所が決まっている場合は詳細に記入して下さい。 〇〇仮設、〇〇市民センター、〇〇公園等		
対象者	活動の対象となるのはどのような方々ですか。 また、本事業の直接の支援対象となる方のおおよその人数を記入してください。		
活動背景や経緯	なぜこの取組みをすることになったのか。どのような話し合いがあったのか等		
活動目的	今回申請する活動のねらい、背景、対象者等		
活動内容	今回申請する予定の内容を詳しく記入してください。 日程、回数、場所、予定参加者数、実施方法等		
活動実施協力者	役職	団体名	
△△ △△	事務局長	NPO 法人 〇〇	
〇〇 〇〇〇		◆◆町社会福祉協議会	

予算

費目	詳細	金額	助成申請
謝金	ワークショップ講師1名(3時間)×3回	15,000	○
交通費	○○⇄△△バス往復(3000円)×3回	9,000	
消耗品費	模造紙、ふせん、サインペン3セット	10,000	○
茶菓子代	茶菓子、飲み物(10名分)×3回	15,000	○
印刷製本費	チラシ(10円×50枚)、ポスター(20円×25枚)	1,000	○
会場借上費	1000円/h×3時間×3回	9,000	○
合計		59,000円	

※助成申請…総予算のうち、助成金に申請したい費目・金額に○をつけてください。

収入内訳	助成金	50,000円
	参加費	0円
	自己資金等	9,000円
合計(予算合計と同額)		59,000円

申請団体メンバー表（該当する A 又は B どちらかにご記入下さい。）

A : 5 人以上の住民グループ等

申請主体が、役員等を定めた団体・組織になっていない場合は、本申請事業に携わる主要なメンバーを 5 名以上ご記入ください。

役割・役職	氏名	住所（番地不要）
代表	●● ●●	岩手県××
会計担当	▲▲ ▲▲	岩手県□□
メンバー	□□ □□□	岩手県○○○
メンバー	□□ □□□	岩手県○○○
メンバー	□□ □□□	岩手県○○○
メンバー	□□ □□□	岩手県○○○

※住所はどのような方が関わっているかを確認するためのもので、詳細な番地は不要です。

B : その他地縁組織、任意団体や法人等

法人格の有無をとわず、申請主体が役員等を定めた団体・組織になっている場合には、以下に役員名をご記入下さい。

役職	氏名	他所属等
代表理事	●● ●●	
理事	▲▲ ▲▲	
理事	▲▲ ▲▲	
理事	▲▲ ▲▲	
監事	□□ □□□	

※必要であれば、行を追加して記入してください。

※他所属の欄は無ければ空欄で構いません。

代 表 者 略 歴

氏 名：

生 年： 19XX 年生まれ

現在の所属・役職：

※複数あればそれもあわせて

A) 主な職歴

19**年～20**年 ○○○○○○勤務

20**年～20**年 ○○○○○○勤務

20**年～20**年 ○○○○○○勤務

現在に至る

B) 現在の団体の活動に関する学歴・資格等 ※任意

19**年 ○○○免許取得

C) その他、特記事項

今回の申請事業に関して、追加的に記載することがありましたらご自由にお書きください。